

卒業論文の要旨

論文題目	新聞はどう生き残るか
氏名	井田心平
メジャー	メディア
<p>(要旨)</p> <p>インターネットの発達に伴う SNS の普及により、フェイクニュースと呼ばれる真偽不明の情報が多く飛び交っている中で、新聞は存在感をあまり示すことができていないのが現実だ。</p> <p>新聞は、減少し続ける発行部数を止めるだけでなく、真偽不明の情報が多く出回っている言論空間を改善する必要もある。このような状況下で、新聞はどのようにして生き残っていくことが出来るのだろうか。</p> <p>そんな新聞の今後を探るために、新聞がインターネットや SNS の発達によって発行部数を大幅に減少させている現状や、世論や政治の動きが新聞に与えている影響、新聞が生き残っていくために必要とされる変化について考えた。</p> <p>多数の web メディアがライバルであるメディア新時代において、今後は読者との距離をいかにして縮めていくかということが鍵になると考える。</p> <p>そして、権力への厳しい追及を徹底していくことも重要だ。自社の存在価値を示すためにも、徹底した調査報道などによって、権力との闘いに全力を尽くす必要があるのではないか。</p>	
<p>(指導教員の推薦のコメント)</p> <p>いまどき珍しいことに本人は新聞というメディアに強い興味を持っていた。この論文では新聞ジャーナリズムの必要性に関する確信と、将来性に対する懸念を、数々のデータ、先行論文などにあたって考察した。</p> <p>引用の形式などにやや雑な点はあるが、論文の内容自体は幅、深さともに十分で、論理展開も結論も説得力があった。</p> <p>なお、著者は春から地方紙の記者になる。この論文で表出された危機感を持って仕事に取り組んでほしいと、元同業者であり、かつ指導教員であった私は強く願う。</p>	